

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 渡邊光潤 TEL 03-6866-0276
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,401	△4.2	△149	-	△107	-	△125	-
2019年3月期第2四半期	2,507	5.7	△97	-	△60	-	△71	-

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △190百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 278百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△72.97	-
2019年3月期第2四半期	△41.44	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,639	2,954	63.7
2019年3月期	5,214	3,232	62.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,954百万円 2019年3月期 3,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,730	2.6	190	67.0	250	42.2	200	134.3	115.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2 Q	1,804,471株	2019年3月期	1,804,471株
2020年3月期2 Q	79,126株	2019年3月期	79,116株
2020年3月期2 Q	1,725,348株	2019年3月期2 Q	1,725,622株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな景気回復基調にあるものの、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫化など海外情勢における懸念材料も多く、依然として厳しい環境で推移しました。

当社を取り巻く環境におきましては、消費者の購買行動の変化に伴う販売チャネルの多様化およびパターンメイドスーツ業界の企業間競争が一段と激しさを増し、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループは「安定した利益とキャッシュ・フローを出せる経営基盤の確立」の方針のもと、収益力向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,401百万円（前年同期比4.2%減）となりました。オーダーメイドスーツの受注数量が前年同四半期比4.7%減となり、主要3工場の生産活動に影響し売上総利益率が0.9ポイント悪化しました。販売費及び一般管理費は全てのコストを現場段階から見直しに努めましたが経常損失は107百万円（前年同期は60百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は125百万円（前年同期は71百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

小売事業

オーダーメイドスーツの受注状況が今年に入り客数減少傾向となり第2四半期は微増でカバー出来ず、また、ブレフ不採算店1店舗の撤退を行ったことから減収減益となりました。

その結果、売上高は1,320百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント損失27百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント損失）となりました。

卸売事業

売上高は催事件数が減少し数量減少となったものの、卸売単価が1,500円ほど増加したことにより売上高は微増となり、営業損失は微減となりました。

その結果、売上高623百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント損失25百万円（前年同四半期は21百万円のセグメント損失）となりました。

受託縫製事業

オーダーメイドスーツの受注数量減少により、縫製事業の生産活動へ悪影響し安定稼働が出来ず、製造コストの増加により減収減益となりました。

その結果、売上高1,425百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント損失80百万円（前年同四半期は44百万円のセグメント損失）となりました。

ります。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して575百万円減少し、4,639百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して556百万円減少しました。これは、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったための影響額161百万円と現金及び預金及び受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して18百万円減少しました。主な要因は機械装置（有形固定資産その他含む）等の増加48百万円と投資有価証券の時価の減少による608百万円等であります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して298百万円減少し1,684百万円となりました。

これは、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったための影響額179百万円と買掛金等の減少及び未払消費税等の減少（流動負債その他を含む）等によるものであります。

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失125百万円の計上をした一方で、剰余金の配当86百万円を行った結果、当第2四半期連結会計期間末の株主資本は、前連結会計年度末と比較して212百万円の減少となりました。

また、その他有価証券評価差額金は65百万円の減少でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,451,460	1,028,640
受取手形及び売掛金	670,240	494,769
商品及び製品	188,883	208,447
仕掛品	28,946	30,289
原材料	138,735	160,429
その他	63,006	63,280
貸倒引当金	△457	△1,744
流動資産合計	2,540,816	1,984,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	233,805	225,587
その他(純額)	358,464	387,251
有形固定資産合計	592,269	612,839
無形固定資産		
その他	19,485	47,372
無形固定資産合計	19,485	47,372
投資その他の資産		
投資有価証券	1,205,133	1,136,550
敷金及び保証金	716,724	706,720
繰延税金資産	27,036	25,339
その他	113,761	135,641
貸倒引当金	△433	△9,265
投資その他の資産合計	2,062,221	1,994,986
固定資産合計	2,673,977	2,655,197
資産合計	5,214,793	4,639,309
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,710	168,013
未払法人税等	24,231	14,574
ポイント引当金	52,562	47,482
その他	633,469	498,576
流動負債合計	1,010,975	728,647
固定負債		
繰延税金負債	38,125	33,496
役員退職慰労引当金	100,515	102,859
退職給付に係る負債	584,365	571,346
資産除去債務	207,915	209,239
その他	40,761	38,778
固定負債合計	971,683	955,720
負債合計	1,982,658	1,684,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	498,309	286,149
自己株式	△81,154	△81,171
株主資本合計	3,144,715	2,932,538
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	87,419	22,403
その他の包括利益累計額合計	87,419	22,403
純資産合計	3,232,135	2,954,941
負債純資産合計	5,214,793	4,639,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,507,679	2,401,704
売上原価	1,250,393	1,216,369
売上総利益	1,257,286	1,185,335
販売費及び一般管理費	1,355,038	1,335,317
営業損失(△)	△97,751	△149,981
営業外収益		
受取利息	16	62
受取配当金	24,811	24,515
受取手数料	8,172	8,345
受取保険金	1,715	673
助成金収入	2,221	6,573
雑収入	1,967	3,087
営業外収益合計	38,905	43,256
営業外費用		
支払利息	358	325
修理費	1,183	345
雑損失	-	102
営業外費用合計	1,541	774
経常損失(△)	△60,387	△107,499
特別損失		
減損損失	-	7,803
特別損失合計	-	7,803
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,387	△115,302
法人税、住民税及び事業税	8,602	9,353
法人税等調整額	2,526	1,236
法人税等合計	11,128	10,589
四半期純損失(△)	△71,516	△125,892
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△71,516	△125,892

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△71,516	△125,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	349,528	△65,016
その他の包括利益合計	349,528	△65,016
四半期包括利益	278,012	△190,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,012	△190,909

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,387	△115,302
減価償却費	43,421	45,969
のれん償却額	5,716	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△248	10,118
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,578	2,343
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,278	△13,019
受取利息及び受取配当金	△24,828	△24,577
減損損失	-	7,803
支払利息	358	325
売上債権の増減額(△は増加)	133,290	166,640
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,944	△42,599
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,552	△132,697
未払金の増減額(△は減少)	△6,129	△64,228
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,574	△53,184
前受金の増減額(△は減少)	△52,010	12,635
預り金の増減額(△は減少)	△13,462	△27,103
その他	△6,409	△2,846
小計	△83,461	△229,724
利息及び配当金の受取額	24,828	24,577
利息の支払額	△358	△325
法人税等の支払額	△22,494	△18,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81,485	△224,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,191	△76,040
無形固定資産の取得による支出	△5,515	△30,120
投資有価証券の取得による支出	△570	△602
長期前払費用の取得による支出	-	△448
敷金及び保証金の回収による収入	3,892	13,021
敷金及び保証金の差入による支出	△351	△60
その他	△1,318	△12,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,054	△106,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△168	△16
配当金の支払額	△82,825	△85,676
リース債務の返済による支出	△3,120	△6,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,114	△91,881
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△218,653	△422,819
現金及び現金同等物の期首残高	1,540,879	1,451,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,322,224	1,028,640

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,368,984	618,612	517,968	2,505,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	925,948	925,948
計	1,368,984	618,612	1,443,916	3,431,514
セグメント損失(△)	△3,532	△21,624	△44,878	△70,035

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△70,035
棚卸資産の調整額	1,253
その他の調整額	△969
全社収益(注1.)	144,981
全社費用(注2.)	△172,981
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△97,751

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,320,001	623,868	455,374	2,399,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	969,888	969,888
計	1,320,001	623,868	1,425,263	3,369,133
セグメント損失(△)	△27,352	△25,280	△80,976	△133,609

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

	金額
報告セグメント計	△133,609
棚卸資産の調整額	1,506
その他の調整額	△620
全社収益(注1.)	147,490
全社費用(注2.)	△164,748
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△149,981

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託縫製事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの工場で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した工場について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として6,113千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

また「小売事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として1,689千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。